

和歌山縣報

第五百十九號

大正六年十二月二十一日
金 曜 日

○縣令

○和歌山縣令第二八號

和歌山縣吏員職員退隱料退職給與金遺族扶助料死亡給與金支給規則通常縣會ノ議決ヲ經左ノ通相定ム

大正六年十二月二十二日

和歌山縣知事 池松時和

和歌山縣吏員職員退隱料退職給與金遺族扶助料死亡給與金支給規則

第一章 總 則

第一條 縣經濟ヨリ給料ヲ受クル吏員職員又ハ其ノ遺族ハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外本則ノ定ムル所ニ依リ退隱料退職給與金遺族扶助料又ハ死亡給與金ヲ受クルノ權利ヲ有ス

前項吏員ノ種別ハ知事ノ定ムル所ニ依ル

第二條 前條ニ該當スル吏員職員ハ其ノ給料ノ百分ノ一ヲ縣ニ納ムヘシ

第三條 吏員職員ノ在職年數ハ本縣ニ於ケル就職ノ月ヨリ起算シ退職又ハ死亡ノ月ヲ以テ終リトス但シ明治三十二年七月以前ニ於テ就職シ引續キ在職ノ者ハ同年同月ヨリ起算ス

吏員職員間ノ在職年數ハ交互之ヲ通算ス

退職ノ後再ヒ就職シタル者ノ在職年數ハ前後ノ月數ヲ通算ス

左ニ掲クル月數ハ在職年數ニ算入セス

一 年齡二十歳ニ滿タサル間ノ在職月數

二 日給又ハ手当ヲ受ケ在職シタル月數

三 在職年數算定上一年ニ滿タサル月數

四 同時ニ二以上ノ職ニ在リ各別ニ給料ヲ受ケタル間ノ重複シタル在職月數

五 年齡六十歳未滿ニシテ自己ノ便宜ニ依リ退職シ又ハ犯罪アリタルカ爲失職シ若ハ懲戒ニ

依リ解職セラレタル後再ヒ就職シタル者ニ在リテハ前在職ノ月數

第四條 退職料退職給與金遺族扶助料及死亡給與金ノ給額算定上退職又ハ死亡ノ際ニ二以上ノ職

ニ在リ各別ニ給料ヲ受クル者ニ在リテハ其ノ給料ヲ合算シ休職停職者ニ在リテハ其ノ在職最終

ノ給料額ヲ以テ退職又ハ死亡當時ノ給料額ト看做ス

第五條 退職料及遺族扶助料年額圓位ニ滿タシム

第六條 退職料及遺族扶助料ノ支給ハ停止及廢止ハ其ノ事由ノ生シタル翌月ヨリ之ヲ行フ

第十一條 第二項ニ依ル退職料ノ支給ハ事由認定ノ翌月ヨリ始ム

第七條 退職料及遺族扶助料ノ支給ハ各權利者ノ請求ニ依リ知事之ヲ裁定ス

第八條 退職料及遺族扶助料ハ之ヲ受クベキ事由ノ生シタル日ヨリ三年以内ニ請求スルニ非サ

レハ之ヲ給セス

第九條 退職料退職給與金遺族扶助料及死亡給與金ヲ受クル權利ハ之ヲ賣買譲與シ又ハ債權ノ擔保ト爲スコトヲ得ス

第二章 退 料

第十條 吏員職員在職十五年以上ニシテ左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ終身退職料ヲ給ス

一 年給六十歳ヲ超エ退職ヲ許シタルトキ

二 傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ其ノ職ニ堪ヘス退職ヲ許シタルトキ

三 廢職又ハ休職滿期ニ依リ退職シタルトキ

四 事務ノ都合ニ依リ退職ヲ命ジタルトキ

五 法令ヲ以テ設立シタル議會ノ議員並市町村長助役收入役ニ就職ノ爲退職シタルトキ但シ他府縣内ニ於テ就職スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 吏員職員職務ノ爲傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ一肢以上ノ用ヲ失ヒ又ハ之ニ準スヘキ者

ニシテ其ノ職ニ堪ヘス退職シタルトキハ在職年數ニ拘ラス終身退職料ヲ給ス

前項ノ規定ハ職務ノ爲傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ退職シタル後一年以内ニ其ノ傷病疾病ニ起因シ前項ニ當ルニ至リタル者ニ之ヲ準用ス

第十二條 退職料年額ハ退職當時ニ於ケル給料年額ノ二百四十十分ノ六十トシ在職十五年以上四十年ニ至ル迄一年ヲ加フル毎ニ退職當時ノ給料年額二百四十十分ノ一ヲ増加ス但シ在職十五年未滿ノ者ハ十五年ノ額トス

前條ノ場合ニ在リテハ情狀ニ依リ特ニ退職料年額十分ノ七迄ヲ増加スルコトアルヘシ

第十三條

退職料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者再ヒ就職シ在職一年以上ニシテ第十條各號ノ一ニ當ルトキハ左ノ區分ニ依リ退職料ヲ給ス

一 退職當時ノ給料前後相同シカラサルトキハ前後ノ年數ヲ通算シ後職ニ對スル退職料額ト

前退職料額トヲ比較シ其ノ多キ方ヲ給ス

二 退職當時ノ給料前後相同シキトキハ在職年數ニ應ジ退職料額ヲ増加ス但シ前職十五年未

滿ニシテ退職料ヲ受ケタル者ニ在リテハ前後通算シテ十六年以上ニ至ラサレハ増加セス

第十四條

吏員職員在職中他ノ官職ニ在リタル者他ノ法令ニ依リ其ノ官職ノ在職年數ヲ計算シ思給及ハ退職料ヲ受ケ若ハ受クルニ至リタルトキ其ノ額本則ニ依ル退職料額ヨリ多キ場合ハ退職

料ヲ給セス少キ場合ハ其ノ差額ニ相當スル退職料ヲ給ス

第十五條

退職料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ其ノ權利ヲ失フ

一 國籍ヲ喪失シタルトキ

二 六年ノ懲役若ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

三 在職中ノ犯罪ニ依リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

第十六條

退職料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者判任待遇以上ノ官職ニ就キ又ハ府縣ノ吏員職員ト爲リ日給等當以テノ給料ヲ受クルトキハ其ノ間退職料ノ支給ヲ停止ス禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄亦同シ

第三章 退職給與金

第十七條

吏員職員在職中以上ニシテ第十條各號ノ一ニ當ルトキハ退職給與金ヲ給ス但シ退職

料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ退職給與金ハ退職當時ノ給與月額二分ノ一ニ勤続年數ヲ乘シタル額トス

第十八條 吏員職員ニシテ他ノ官職ニ在ル者退職スルモ退職給與全ヲ給セスニ以上ノ職ニ在リ各別ニ給料ヲ受クル者一ノ職ヲ退ク場合亦同シ

第四章 遺族扶助料

第十九條 吏員職員各號ノ一ニ當ルトキハ其ノ遺族ニ扶助料ヲ給ス

職務ノ爲傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ在職中死亡シタルトキ

二 在職十五年以上ニシテ在職中死亡シタルトキ

三 退職料ヲ受ケ又ハ受クヘクシテ死亡シタルトキ

扶助料ノ額ハ前項第一號ノ場合ニ在リテハ第十二條ニ依リ査定シタル金額ノ三分ノ二第二號ノ場合ニ在リテハ第十二條ニ依リ査定シタル金額ノ三分ノ一第三號ノ場合ニ在リテハ其ノ退職料年額ノ三分ノ一トス

第二十條 前條遺族ト稱スルハ寡婦、子、父母、祖父母ニシテ吏員職員タリシ者死亡ノ當時ヨリ引續キ其ノ家ニ在ル者ヲ謂フ

扶助料ハ前項ニ掲ケタル順序ニ依リ最先者ニ之ヲ給シ最先者死亡シ若ハ扶助料ヲ受クヘカラサルトキハ順次次位者ニ轉給シ同順位内ニ在リテハ家督相續人ハ其ノ他ノ者ニ男ハ女ニ嫡ハ庶ニ長ハ幼ニ先ツ

民法第九百六十九條ニ依リ家督相續人タルコトヲ得サル者及推定家督相續人ニシテ廢除セラレタル者ニハ扶助料ヲ給セス但シ疾病其他ノ身體又ハ精神ノ狀況ニ依リ家政ヲ営ムニ堪ヘサルカ

爲廢除セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

養子ハ家督相續人ニ非サレハ扶助料ヲ給セス

第二十一條 扶助料ヲ受クル者ナクシテ死シタル者ノ家ニ在ル兄弟姉妹年齡二十歳未満又ハ篤疾若ハ癡疾ニシテ自活スルコト能ハサルトキハ扶助料ニ相當スル金額ノ三箇年分以内ヲ一時限リ給スルコトアルヘシ

第二十二條 遺族左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ扶助料ヲ受クルノ權利ヲ失フ

一 國籍ヲ喪失シタルトキ

二 六年ノ懲役若ハ^(罰)以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

三 其ノ家ヲ去リタルトキ

四 寡婦婚姻シタルトキ

五 子年齡二十歳ニ滿チ又ハ婚姻シタルトキ

六 尊屬ノ女婚姻シタルトキ

第二十三條 子年齡二十歳ニ滿ツルモ篤疾又ハ癡疾ニシテ自活スルコト能ハス他ニ扶助料ヲ受クル者ナキトキハ其ノ事由ノ存續スル間扶助料年額三分ノ一ヲ給スルコトアルヘシ

第二十四條 扶助料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキハ其ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ間扶助料ノ支給ヲ停止ス

前項ノ場合ニ在リテハ其ノ停止ノ間第二十二條ノ順位ニ依リテ次位者ニ轉給ス

第二十五條 吏員職員在職中死シタルトキハ其ノ遺族ニ一時扶助金ヲ給ス但シ扶助料ヲ受クヘキ

適合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ扶助金ハ死亡當時ノ給料年額百分ノ一ニ在職年數ヲ乘シタル額トシ之ヲ受クヘキ遺族ノ範圍竝其ノ順位ハ扶助料支給ノ例ニ同シ

第五章 死亡給與金

第二十六條 吏員職員在職中死亡シタルトキハ死亡當時ノ給料二箇月分ニ相當スル死亡給與金ヲ其ノ遺族ニ給ス

前項遺族ノ範圍竝其ノ順位ハ扶助料支給ノ例ニ同シ

附則

第二十七條 本則ハ大正七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年縣令第十號和歌山縣吏員退職料規則同年縣令第十一號和歌山縣吏員退職給與金規則及同年縣令第十二號和歌山縣吏員遺族扶助料規則ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第二十八條 本則施行ニ關シ必要ナル事項ハ知事之ヲ定ム

○ 告 示

○和歌山縣告示第四〇三號

明治三十九年四月勅令第九十六號ニ依リ左記神社ヲ神饌幣帛料供進神社ニ指定ス

大正六年十二月二十一日

和歌山縣知事 池松時和

記

伊都郡見好村大字山崎

村社

丹生神社

○和歌山縣告示第四〇四號

明治四十一年七月內務省令第十二號附則ニ依リ左記神社ヲ會計法適用神社ニ指定ス

大正六年十二月二十一日

和歌山縣知事 池松時和

記

伊都郡見好村大字山崎

村社

丹生神社

○和歌山縣告示第四〇五號

和歌山市坊主丁五番地

開業産婆 天野もと

右今般死亡ノ旨ヲ以テ顯出ニ依リ本日、和歌山縣産婆名簿ノ登録ヲ取消ス

大正六年十二月二十一日

和歌山縣知事 池松時和

○和歌山縣告示第四〇六號

左記狩獵免狀遺失ノ旨顯出タリ

大正六年十二月二十一日

番 號

種 類

遺失月日

遺失場所

住 所

氏 名

和歌山縣知事 池松時和

田第一〇七號

乙種三等

大正六年十二月六日

西牟婁郡二川村川合

西牟婁郡岩田村大字岩田二、五九六

池田武助

○町村吏員異動

○大正六年十二月十五日認可

有田郡宮原村長

西牟婁郡朝來村長

全郡副參見村有村長

三 本 新 西 郎
宮 本 啓 三 郎
田 所 五 一

○彙 報

○衛 生

○衛第九一九一號

大正六年十二月四日(自十二月三日正午至十二月四日正午間報告到着ノ分)

傳 染 病 日 報 內 務 省 衛 生 局

痘

瘡

府 縣

新患者發生市名

新患者數

福 岡

八 橋 市

二

水紀町衛生所報告

五、五三

○衛第九二五四號

大正六年十二月六日(自十二月四日正午至十二月六日正午間報告到着ノ分)

傳染病日報
內務省衛生局

痘 瘡

府縣

新患者發生郡市名

總患者數

福岡

企救郡

一

八幡市

一

計

二

本年累計患者數

五、〇五五

○衛第九二九三號

大正六年十二月七日(自十二月六日正午至十二月七日正午間報告到着ノ分)

傳染病日報
內務省衛生局

痘 瘡

府縣

新患者發生郡市名

新患者數

大阪

大阪市

一

福岡

糟屋郡

一

計

二

本年累計患者數

五、〇五七

○衛第九三三八號

大正六年十二月八日(自十二月七日正午至十二月八日正午間報告到着ノ分)

傳染病日報 內務省衛生局

府縣

新患者發生有菌鼠疫見郡市名

有菌鼠

兵庫

神戸市

一

本年累計有菌鼠數

三五七

○衛第九四一八號

大正六年十二月十一日(自十二月十日正午至十二月十一日正午間報告到着ノ分)

傳染病日報 內務省衛生局

痘

瘡

府縣

新患者發生郡市名

新患者數

福岡

門司市

一

本年累計患者數

五、〇六一

